

令和6年度第3回小平市防災会議要録

1 開催日時

令和7年2月19日（水）午前11時00分から午前11時30分まで

2 場所

小平市役所 6階大会議室

3 出席状況（会長除く。）

委員数33人（出席者28人（代理者含む。）、欠席者5人）

4 議題

議案第1号 小平市地域防災計画（令和7年修正）案の策定について

5 その他

(1) 小平市地域防災計画（令和7年修正）素案に係るパブリックコメントの実施結果について

(2) 小平市地域防災計画（令和7年修正）の今後のスケジュールについて

6 傍聴人

2人

7 会議内容

○開会挨拶

【司会（防災危機管理課長）】

本日は、御多用のところ、ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

ただいまから、令和6年度第3回小平市防災会議を開会させていただきます。

本日の会議の司会を務めさせていただきます防災危機管理課長の関口でございます。よろしくお願いたします。

恐縮ではございますが、これより着座にて、進行させていただきます。

それでは、会議の開催にあたり、配布資料の確認をさせていただきます。

1つ目は、「令和6年度 第3回小平市防災会議 次第」でございます。

2つ目は、「防災会議 席次表」でございます。

3つ目は、「令和6年度 第3回小平市防災会議 出欠表」でございます。

4つ目は、資料1「小平市地域防災計画素案からの修正内容(素案からの新旧対照表)」でございます。

5つ目は、資料2「小平市地域防災計画（令和7年修正）資料編の主な変更内容」で
ございます。

6つ目は、資料3「小平市地域防災計画（令和7年修正）（素案）に対する市民意見
公募（パブリックコメント）の結果について」、でございます。

以上6点の資料となります。不足等ございませんでしょうか。

本日の会議でございますが、開催状況の記録を残すために、録音をさせていただきます。
それでは次第に従いまして、進行させていただきます。

次第2、「会長挨拶」でございます。小林市長から御挨拶を申し上げます。

○会長挨拶

【会長（市長）】

皆様こんにちは。

本日はお忙しい中、第3回小平市防災会議に御出席をいただきまして、誠にありがと
うございます。

また、日頃より、防災行政をはじめといたします、小平市政に御理解と御協力いた
いておりますこと、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

さて、本年は、阪神淡路大震災から30年という年でございます。阪神淡路大震災は、
当市にとりましても、都市型災害として教訓とすべき地震でございます。阪神淡路大震
災から30年経ちましたけれども、この30年の間で起きた大きな地震は、半島であつ
たり、山であつたりという中で、都市型の地震というのは阪神淡路大震災から起きてい
ないという現状がございます。そうした中で、小平市としては、教訓にしていきたいと
思っております。

委員の皆様には、引き続き小平市の災害対応力向上のために、御協力をお願いいた
します。

さて、本日の議題にあります、小平市地域防災計画につきまして、皆様に御協力いた
だきながら、今年度末での修正に向けた検討を進めて参りました。昨年10月に開催い
たしました、第2回小平市防災会議におきまして、計画修正素案についてお示しをさせ
ていただき、御承認をいただいたところでございます。

会議の後、12月にはパブリックコメントを実施いたしましたところ、市民の皆様よ
り、様々な御意見をいただいております。

本日は、頂いた御意見に関する検討結果の御報告もさせていただきますが、小平市地
域防災計画令和7年修正の策定に向けた、最後の防災会議として、実施させていただく
ものとなります。

皆様におかれましては、本日の議題について御審議いただきますとともに、小平市の
防災行政への忌憚のない御意見、御提言など頂戴できればと存じますので、どうぞよろ

しくお願い申し上げます。

はなはだ簡単ではございますが、私からの挨拶とさせていただきます。

【司会（防災危機管理課長）】

ありがとうございました。

なお、ここで、昨年10月に人事異動により委員が変更となっておりますので、御紹介をさせていただきます。小平消防署の金子署長です。

金子署長、一言御挨拶をお願いいたします。

【小平消防署長】

おはようございます。小平消防署長の金子と申します。昨年の10月に四谷消防署より参りました。

小平市の安心・安全のために、愚直に取り組んで参りたいと思いますので、今後とも御協力、御指導よろしくをお願いいたします。

【司会（防災危機管理課長）】

それでは、次第に従いまして、防災会議を進めさせていただきます。

次に3「議題」でございますが、防災会議運営規程に基づき、会議の議事は、会長が主宰することとなっております。議事の進行につきましては、会長であります小林市長をお願いいたします。

○議題

【会長（市長）】

それでは、議題に入ります前に、本日傍聴希望者が2名おります。本会議は公開を原則としておりますので御了承をお願いします。

よろしいでしょうか。

それでは議題に入ります。

議案第1号「小平市地域防災計画（令和7年修正）案の策定について」を議題といたします。事務局の説明を求めます。

【事務局（計画調整担当係長）】

防災危機管理課の小林と申します。よろしくお願いいたします。

大変恐縮ではございますが、着座にて説明させていただきます。

それでは、「小平市地域防災計画（令和7年修正）案の策定について」を説明いたします。

小平市地域防災計画（令和7年修正）につきましては、令和5年度第1回防災会議に

て、修正方針を報告し、令和6年度第2回防災会議にて素案の御承認をいただきました。その素案について、パブリックコメントを実施し、防災会議委員の皆様からの意見書を踏まえ、計画案を策定いたしました。

なお、計画案につきましては、本防災会議に先立ちまして、1月下旬に意見照会を実施した際、外部委員様宛にはCD-Rを郵送し、内部委員宛には庁内グループウェアのキャビネットにデータを格納して、すでに御覧いただいているところでございます。全ページ数が千ページ以上あることから、本日は計画案を紙で配布しておりませんが、説明に必要な箇所につきましては、前方にありますスクリーンに投影いたします。

では、計画案の説明をさせていただきます。計画の構成や主な内容につきましては、第2回防災会議において説明させていただいておりますことから、本日は、素案からの主な修正点について抜粋して説明いたします。

資料1「小平市地域防災計画素案からの修正内容」を御覧ください。

なお、本日机上に配付しました資料1は、先に防災会議委員の皆様へ送付しておりますものから若干の修正を加えております。修正内容といたしましては、1月下旬に実施した防災会議委員の皆様からの御意見を踏まえた内容に修正しているほか、本編の修正に伴う規則改正における文言修正等を行っております。修正を加えた箇所につきましては、グレーマーカーを引いております。

初めに、パブリックコメントの反映です。1ページ目の上段を御覧ください。こちらは、第I部の第3章 地震に対する調査研究について記載しているページになりますが、「2 地域危険度測定調査」の項目に、調査結果を東京都ホームページで閲覧できる旨の追記をいたしました。

また、8ページ目の上段を御覧ください。こちらは、第9章 避難者対策の「避難所の管理運営体制の整備等」について記載しているページになりますが、避難所運営マニュアル整備における避難所開設準備委員会の名称を追記いたしました。

次に、防災協定の締結による各種データの最新情報の反映です。

4ページから5ページを御覧ください。こちらは、第II部の第1章市民、事業者、市の基本的責務と役割の「協定締結協力機関」について記載しているページになりますが、新たに、東京都栄養士会など多くの機関と協定締結を行いましたので、追記いたしました。

主な協定内容としましては、被災建築物に対する応急危険度判定や応急修理等の業務を円滑に進め、早期の再建へつなげることを目的とした協定、地域内輸送拠点等の効率的な運営に必要な人員や資機材等を確保し、避難所等へ適切に物資輸送できる体制とするための協定、市内で21,347人の帰宅困難者が発生すると想定されている中で、減災目標の指標でも一時滞在施設の早期確保を掲げているところでございますが、その一時滞在施設の開設運営に関する協定、被害想定では死者の6割以上を占める要配慮者に対して、災害関連死の抑制などにも資する、要配慮者への支援に関する協定、能登半島地震の際に、り災証明書の申請などの行政手続を支援し、被災者の生活再建などに寄与した行政書士会との協定等がございます。

なお、5 ページ及び7 ページの一時滞在施設に関するトヨタモビリティ東京株式会社との協定につきましては、現在手続き中であるため、「予定」を追記しております。

次に、防災会議委員からの意見の反映です。

小平郵便局様、小平消防署様から御自身の機関に関する事項の修正をいただきましたので、3 ページ下段、6 ページ、9 ページ下段に、それぞれ記載のとおり修正いたしました。

なお、軽微な修正内容につきましては、資料1に記載していませんが、御指摘いただきました箇所の句読点の削除も行っております。

また、公益社団法人東京都助産師会 小平・小金井地区分会様から、災対こども家庭部の分掌事務に、妊産婦・乳幼児の避難誘導並びに救護に関することの追加について御意見をいただきました。こちらの分掌事務につきましては、所管する市立保育園や学童クラブに通う園児・児童への対応を記載しております。

妊産婦・乳幼児の避難誘導、救護等につきましては、第9章 避難者対策に、市が行う避難誘導として、要配慮者について、それぞれの特性や状況などを踏まえ、避難方法に配慮して、地域住民、自主防災組織等の協力を得ながら適切に避難誘導することを記載しております。

救護につきましては、要配慮者に限らず、第2章の地域による応急対策の実施において、自主防災組織をはじめとして、各関係機関が取り組む内容として記載しております。

また、市の健康推進課、こども家庭センターの保健師を班員とした救護班が医療救護に関する事務を分掌し、市医師会様、市歯科医師会様、市薬剤師会様、東京都助産師会小平・小金井地区分会様等と、災害時の協力協定を締結し、医療救護班等を編成し傷病者の応急処置等を実施するなど、初動医療体制を整備しております。

最後に、7 ページ下段を御覧ください。こちらは、第9章 避難者対策の「避難体制の整備」について記載しているページになりますが、避難行動要支援者登録名簿の登録対象者について、関係課との調整を行い、小児慢性特定疾病の患者・患児を加えております。

その他、風水害編、火山災害編、大規模事故編を含み軽微な修正を行っておりますが、計画の骨子や防災体制に影響するものではございません。

なお、原子力災害編につきましては、修正はございません。

本編は以上でございます。

続きまして、資料2「小平市地域防災計画（令和7年修正）資料編の主な変更内容【概要】」を御覧ください。

主な変更内容としまして、「1 資料編・協定編の作成」でございますが、これまでの資料編から防災協定を分割して、協定内容も掲載した別冊として作成しております。

次に「6 緊急道路障害物除去路線の新規路線を追加」でございますが、資料番号は12、資料34ページになります。スクリーンを御覧ください。

発災時に緊急交通路及び緊急輸送道路等を確保するため、小平市緊急道路障害物除去路線を選定し、路上の障害物の除去や簡易な応急復旧作業を優先的に実施し、発災初期

の緊急輸送機能の回復を図ることとしております。

このたび、令和6年3月策定の災害廃棄物処理マニュアルに基づく災害廃棄物対策拠点を含めた、より効果的な道路ネットワークを形成するため、本計画修正に併せて見直しを行いました。具体的には、リサイクルセンター及び小平・村山・大和衛生組合への路線を新規に追加いたします。

次に「11 指定避難所一覧表の更新」でございますが、資料番号26、資料57ページから59ページになります。スクリーンを御覧ください。

こちらは、前回の修正以降、「災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定」を社会福祉法人等と締結したことから、福祉避難所を追加しております。

また、想定収容面積及び想定収容人数の算出方法の見直しを行い、それぞれの数値を変更しております。見直しに当たりましては、個人情報や備品等が保管されている教室など、避難所として一般開放することが好ましくないスペースの更なる精査を行い、想定収容面積から除外したことや、通路や受付スペース等の非居住スペースについて、食料物資保管・配布場所、情報提供掲示板設置場所、救護所、授乳室、更衣室などの避難生活に必要なスペースなども加味して、実際に、避難所開設準備委員会が避難所運営マニュアルを作成するために、体育館にパーテーションの設置を行った学校の居住スペース割合を参考に見直しを行いました。

また、福祉避難所の想定収容人数の算出では、同伴家族等のスペースも確保できるように配慮するため、1人当たりの面積を3㎡として算出しております。

なお、市民総合体育館につきましては、地域内輸送拠点として活用する諸室等を除外したため、他の施設より面積・人数ともに減少が大きくなっております。

この結果、参考数値となりますが、今回の見直しによる想定収容人数の合計は、22,624人となりますが、新たな被害想定における避難所避難者数は、19,369人と減少しておりますので、避難所避難者数に対する、必要な避難所数としては整っております。

最後に、「17 各場面における震災シナリオの追加」です。資料番号は55、資料の118ページから129ページになります。スクリーンを御覧ください。

災害を自分事として捉えることで、自助・共助の更なる推進を図ることを目的とし、東京都の災害シナリオを基に、小平市の地域特性に合った震災シナリオを作成しました。

以上が、素案からの主な修正内容でございます。

以上の内容等を反映させ、計画案を作成いたしましたので、御審議いただきますよう、よろしく願いいたします。

説明は以上でございます。

【会長（市長）】

ただいま提案いたしました議題につきまして、質疑をお受けいたします。なお、御質問には事務局が答えます。何かございますか？

それでは、御質問がございませんので、次に進ませていただきます。
当議題につきまして、承認とさせていただきますがよろしいでしょうか。

それでは、当議題につきまして、承認されました。ありがとうございました。
議題は以上でございます。
それでは、事務局に司会を返します。

【司会（防災危機管理課長）】

つづきまして、次第4「その他」でございます。

1つ目、「小平市地域防災計画（令和7年修正）素案に係るパブリックコメントの実施結果について」、及び2つ目、「小平市地域防災計画（令和7年修正）の今後のスケジュールについて」、事務局より一括して御説明いたします。

【事務局（計画調整担当係長）】

防災危機管理課の小林です。引き続き説明をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

それでは、「小平市地域防災計画（令和7年修正）素案に係るパブリックコメントの実施結果について」及び「小平市地域防災計画（令和7年修正）の今後のスケジュールについて」を合わせて報告させていただきます。

大変恐縮でございますが、着座にて報告させていただきます。

お手元の資料3「小平市地域防災計画（令和7年修正）素案に係るパブリックコメントの実施結果について」を御覧ください。

10月に開催いたしました第2回小平市防災会議にて承認いただいた素案について、令和6年11月20日（水）から12月19日（木）までパブリックコメントを実施し、2団体を含む8人から44件の意見提出がありました。

いただいた意見は資料3のとおりでございます。

提出された主な意見といたしましては、避難所運営や避難所開設準備委員会、自主防災組織、共助、ペット対策に関することなどがございました。

意見に対する対応としましては、反映済が9件、反映するが2件、反映しないが14件、参考意見が19件でございます。反映するとした意見は、地域危険度測定調査結果を東京都ホームページで閲覧できる旨の追記、避難所運営マニュアル整備における避難所開設準備委員会の名称の明記です。

パブリックコメントの実施結果につきましては、以上でございます。

続きまして、小平市地域防災計画（令和7年修正）の今後のスケジュールについて報告いたします。

配付資料はございませんので、口頭のみで説明させていただきます。

本日、御承認いただきました、小平市地域防災計画につきましては、印刷・製本を行ったのち、3月下旬頃に、委員の皆様へ郵送させていただく予定でございます。

併せまして、ホームページへの掲載と印刷冊子の市民への販売を予定しております。

また、市民向けの概要版を作成し、同じく公表する予定でございます。

今後は、小平市地域防災フォーラム等の機会を捉え、市民の皆様へ本計画の修正内容等の周知を図り、防災意識の啓発を推進してまいります。

報告は以上でございます。

【司会（防災危機管理課長）】

その他事項に関する説明につきましては以上となります。

御質問等がございましたら、御発言をお願いいたします。

次第につきましては以上となります。

本日の会議をもちまして、令和6年度の防災会議につきましては最終回となっております。また、2か年に渡って行ってまいりました小平市地域防災計画（令和7年修正）におきましても、今回の会議で御承認をいただきまして、一区切りということになっております。こちらの会議での修正を受けまして、今後の各機関での取組ですとか、所感であったりとか、そういったものが何かございましたら、御発言をいただければと思います。何かございますか。

よろしいでしょうか。

では、引き続き御協力を頂きながら、防災力の向上に努めて参りますので、是非御協力をよろしくお願いいたします。

以上をもちまして、令和6年度第3回小平市防災会議を終了させていただきます。

本日は、大変ありがとうございました。